

第4学年3組学級活動（2）指導案

1 題材「自分も相手も納得する班決めをしよう」

学級活動（2）イ よりよい人間関係の形成

2 題材設定の理由

本題材は、学級活動「（2）日常生活や学習への適応と自己の成長及び、健康安全」の内容の「イ よりよい人間関係の形成」として計画した題材である。この内容の「学級や学校の生活において互いのよさを見つけ、違いを尊重し合い、仲良くしたり信頼し合ったりして生活すること。」について取り扱う。

学習指導要領解説特別活動編では、この内容において育成を目指す資質・能力の例として「自己の生活をよりよくするために他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする態度を養う。」とある。

そこで、発達心理学（ピアジェの発達心理学）などで用いられる、10歳前後（4年生）の児童の傾向として、具体的操作期から、形式的操作期に成長し、他者への関心と内省が高まるこの時期に、本題材を取り扱うことが適正と考えた。自身が意思決定したことをもとに、児童同士で具体的な場面を想定して、話し合い活動を設定することで、自己の課題解決に取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする力が養われるのではないかと考えた。

（1）児童の実態

本校の4年生は4学級あり、122名が在籍している。毎年学級編成を行っており、本学級は男子15名、女子15名が在籍している。学校目標「自分を磨き、輝く子」のもと、学年目標の「For You」が掲げられた。上学年になり、自分のことだけではなく、相手のことも考えられるようになってほしいという願いがこめられている。

本学級の児童は、休み時間には男女関係なく過ごしたり、学習中にわからないことがあると教え合ったりしており、全体的に仲良く過ごしている。「グループワークなどは好きですか」という質問には約70%が楽しいと答えた。しかし、「自分の意見が通らない」や「伝え方がわからない」などといった意見もあった。友達同士のトラブルにおいても、教師が仲裁に入らないと、自分の意見ばかりを伝えたり、黙ったりするなど、話し合いが苦手な児童も学級内にいる。3年生までに感染症対策のため、給食の会食の経験がなかったり、授業中の座席は一人席になっていたり、学習と生活の両方で、他者との関わる機会を制限されていたことも原因の一つと考えられる。以上のことから、話し合い活動は楽しめているが、自分の意見を伝えたり、相手との考えの違いを受け入れたりすることが難しい児童もいると考えた。

そこで自分も相手も大切にしたい自己表現方法の一つであるアサーショントレーニングを取り入れる。日々、アサーショントレーニングを意識した指導を行うとともに、前時にア

サーションテストを行い、自分に合った自己表現の方法を知る。その後、前時の内容をもとに、本時で班を決めるために自分がどのように行動するか意思決定を行う。意思決定直後に話し合い活動を授業に取り入れることで、児童は意思決定の内容と話し合い活動を直接結びつけて行うことができ、児童の資質・能力を育てるきっかけになるのではないかと考えた。また、振り返りについても活動直後に行うことで、自身の言動をより鮮明に思い浮かべることができ、より具体的な振り返りができるのではないかと考える。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

| | | |
|---|--|--|
| よりよい生活を築くための知識・理解 | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
| みんなで楽しい学級生活を作るために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 | よりよい人間関係を築くための解決方法を考え、話し合うことで、自己のよさを活かした意思決定をし、それをもとに主体的に活動している。 | よりよい人間関係の形成に向けて目標をもって努力し、他者と協働してよりよく生きようとしている。 |

4 研究主題との関わり

研究主題

「自治的、実践的に活動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」
 — 自治的な能力の育成を目指した活動の工夫改善を通して —

研究目標

学級活動等の集団行動を通して自主的、実践的に取り組む態度を育成するとともに、育成すべき、資質・能力を明確にし、社会において自律的に生きるために必要な「生きる力」を身につけるための指導の在り方を探る。

研究仮説（1）

よりよい学級・学校にするための課題を自ら見付けたり、集団や個人の目標を明確にしたりする過程を工夫・改善することで、自主的、実践的に活動に取り組むことができるようになるだろう。

研究仮説（2）

実践後の振り返りから次の活動に生かす過程に重点を置き、学びの連続性を意識した学習過程やワークシートの工夫・改善をすることで、児童生徒の自主的、自治的に実践しようとする態度が育つであろう。

本実践では、研究仮説（2）について検証を試みる。

実践後の振り返りから次の活動に生かす過程に重点を置き、学びの連続性を意識した学習過程やワークシートを工夫・改善することで、児童生徒の自主的・自治的に実践し

ようという態度が育つであろう。

○学習過程の工夫・改善

本題材では、児童が友だちと折り合いをつけるために自分の行動を意思決定したことをもとに、活動する場面を設定することで、自主的、自治的に実践する態度が育ったかを評価することができると考えた。通常の学習の流れは、1時間の中で「つかむ→見つける→さぐる→決める」で行うことが一般的である。しかし、本授業では、題材を2時間扱いにし、初めの1時間で「つかむ→見つける→さぐる」を行い、2時間目に「きめる」の意思決定を行う。そして、意思決定の直後に活動することで、児童は意思決定した内容をもとに行動しやすくなる。また、自治的実践的に取り組むことができたか、教師が検証することができる。

○主体的に活動に取り組むための手だて

話し合い活動で、児童同士で折り合いをつけられるようにするために、アサーションテストを行う。自分で、攻撃型（話し上手）、非主張型（聞き上手）、両立型（バランス）なのかを把握して、班を決めるための意思決定を行う。そうすることで、自分の課題を明確にして、話し合い活動をスムーズに行えるようになるのではないかと考えた。また、児童が型のよし悪しに視点がいかないように、攻撃型、非主張型のいいところも抑え、全員が両方の型をもっていることを指導していく。また、攻撃型は「お話上手」、非主張型は「聞き上手」と言葉を言い換えて児童に説明する。

5 事前の指導

| 児童の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿 |
|--------------------------|--|--|
| ○学習で、グループワークや班活動を積極的に行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・班の活動や話し合いを多くできるような学習形態を取り入れる。 ・友達への声かけや、話し方を意識できるように掲示物を作成したり、指導したりする。 | <p>なりたい自分に向けて、学級や学校生活の充実・向上のために主体的に行動しようとしている。</p> <p>【主体的態度】 <観察・発言></p> |

6 前時の展開

| | 活動 | 指導上の留意点 | 目指す姿と評価方法 |
|-----|---|--|-----------|
| つかむ | <p>1 班作りやグループ決めのアンケート結果から話し合い、課題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな友達と組めなかった。 ・一緒にやろうと言えなかった。 ・席替えの時に人数からあふれる | <ul style="list-style-type: none"> ・「困ったことがある」という意見が視覚的にわかるように一覧にして表す。 ・児童がわかりやすいように具体的な場面や気 | |

| | | | |
|------------------|--|---|---|
| | <p>人がいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育のグループ決めの時に一人ぼっちになった。 <p>2 アサーションテストを行い、自分の型を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話上手だった。 ・聞き上手だった。 ・バランスだった。 | <p>持ちを例示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの型にもいいところがあることを伝え、自分の型に否定的にならないようにする。 | |
| み つ け る | <p>3つのとくちょうを知って、上手な話し合い方を考えよう。</p> | | |
| | <p>3 具体的な事例から3つの型の成功例と失敗例を考える。</p> <p><お話上手型成功例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・席替えの時に積極的に声をかけて仲のよい人と組めた。 <p><お話上手失敗例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの意見を聞かないで決めた。 <p><聞き上手成功例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かにしていたら、友達に誘ってもらった。 <p><聞き上手失敗例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰にも声をかけなかったら班を作れなかった。 <p><バランス型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話したり聞いたりするのが上手にできる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3つの型と具体的な場面を結びつけながら、考えられるようにする。 ・自分以外の型の原因も考えられるように一つ一つ取り上げながら全体で考える。 ・当事者の視点と周りの視点があることを伝え、話し上手、聞き上手の原因を多角的に探れるようにする。 ・どの型にもいいところがあるということに気が付けるように成功例と失敗例を挙げる。 | |
| さ ぐ る | <p>4 既出の事例から解決方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話上手は、みんなの意見を先に聞いてから話すといい。 ・聞き上手な子は先に言いたいことを決めておくといい。 ・全員が意見を言えたか確認するといい。 ・言えなそうな子がいたら声をかけてあげる。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとの関わり方について解決方法を考えることができる。 <p>【思考・判断・表現】 〈観察・ワークシート〉</p> |

| | | | |
|--|---|---|--|
| | <p>5 次回の班決めの見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでできるかやってみた い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を作成し、次時の時に、内容を想起できるようにする。 | |
|--|---|---|--|

7 本時の展開

(1) 本時のねらい

話し合い活動を行い、自分の課題から、今後のよりよい人間関係の形成に向けて、目標をもって他者と協働してよりよく生きようとしている。

(2) 児童の活動計画

| | 活動 | 指導上の留意点 | 目指す姿と評価方法 |
|------------------------------|--|---|--|
| 想起 10分 | <p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで校外学習の班を決める。 ・友だちの意見も大切にする。 ・自分の意見も大切にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○前時までの内容を想起できるように黒板に掲示物を貼る。 ○班の構成人数を伝える。4人班が5つ 5人班が2つ | |
| <p>自分も友達の意見も大切にして班を決めよう。</p> | | | |
| き め る 10分 | <p>2 班を決めるときに、自分が大切にしたいことを、前時のテストの結果をもとにワークシートに記入し、友だち同士で伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間外れをつくらないようにする。 ・互いが納得できるように最後まで相手の意見を聞く。 ・強い言い方をしない。 ・話をしていない友だちにも意見を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○机間指導で具体的な意思決定ができるように声掛けをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に必要なことを決めることができる。 <p>【思考・判断・表現】 〈観察・ワークシート〉</p> |
| 活動 15分 | <p>3 意思決定したことをもとに、友だちと活動班を決める話し合いを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女別に分かれて、2人組か3人組を作る。 ・男女別にできた組を合わせて4 | <ul style="list-style-type: none"> ○全体で話し合いが進んでいない場合は、都度話し合いを止めてめあてを確認する。 ○班作りに参加できていない児童がいる場合は一度止めて、もう一度 | <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定したことを実践しようとしている。 <p>【主体的な態度】 〈観察・ワークシート〉</p> |

| | | | |
|----------------------------------|---|--|--|
| ふ り か え り 10 分 | <p>人班と5人班を作る。</p> <p>4 振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も相手も納得できるような班決めができた。 ・自分は納得できなかったけど、新しい友だちのことを知ってみたい。 ・校外学習が楽しみになった。 | <p>話し合いを行うように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合いに参加できていない児童には声をかける。 ○欠席者がいた場合は、その児童の気持ちも考えて、班決めをするように伝える。 ○児童が感じたことを素直に書けるように声をかける。 | <p>◎話し合い活動について具体的に振り返りを行っている。 〈ワークシート〉</p> |
|----------------------------------|---|--|--|

8 事後の指導

| 児童の活動 | 指導上の留意点 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の翌日に班の活動でよかったことや、気になったことについて振り返る。 ・日常の友だちとの関わり方を振り返る。 | <p>○校外学習の予定を書いたワークシートを作成して、本時の話し合い活動と合わせて活用することで、具体的な振り返りとこれからの話し合い活動の意思決定ができるようにする。</p> <p>☆今後の話し合い活動についての意思決定をしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> |

9 板書計画

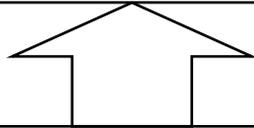
| | | | |
|--|--|---|--|
| <p style="text-align: center;">前時間の振り返り</p> <p style="text-align: center;">【お話上手】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の話を聞いてから意見を伝える。 ・全員が意見を言えたか確認する。 <p style="text-align: center;">【聞き上手】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを先に決めておくといい。 | <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">相手も自分も納得する班決めをしよう</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <p style="text-align: center;">話上手の人のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの意見を聞いてから ・全員、話ができただか確認する </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <p style="text-align: center;">聞き手の人のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを決めておく ・手を挙げてみる </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">今日のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も相手もなっとくできる話し合いができた ・新しい友達と班になったので楽しみ ・自分たちで決めるのは難しいけど、またやってみたい | <p style="text-align: center;">話上手の人のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの意見を聞いてから ・全員、話ができただか確認する | <p style="text-align: center;">聞き手の人のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを決めておく ・手を挙げてみる |
| <p style="text-align: center;">話上手の人のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの意見を聞いてから ・全員、話ができただか確認する | <p style="text-align: center;">聞き手の人のめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを決めておく ・手を挙げてみる | | |

- ・初めて会った人と、気楽に話ができますか はい・いいえ
- ・こまったときや、わからないときに、友達に聞くことができますか。 はい・いいえ
- ・相手の意見がまちがっているときに、それを言えますか。 はい・いいえ
- ・友達がまちがったことをしているときに、そのことを言えますか。 はい・いいえ
- ・なにかを決めるときに、なやむことが少ないですか。 はい・いいえ
- ・班での話し合いで、自分の意見を積極的に言えますか。 はい・いいえ
- ・友達と意見が合わないときに、つい、強い言い方をしていることがありますか。 はい・いいえ
- ・クラスで前に立ったり代表に選ばれるのは、なれていますか。 はい・いいえ
- ・友達との話を自分から終わりにすることができますか。 はい・いいえ
- ・友達と意見がちがうときに、自分の意見を一生けんめい伝えますか。 はい・いいえ
- ・自分の意見や考えが正しいことが多いですか。 はい・いいえ
- ・じゅ業中に指名されても、きんちょうしないですか。 はい・いいえ

「はい」が4こより少なかったので、聞き上手です。
「はい」が5～7こだったので、りょうほう上手です。
「はい」が8こより多かったので、話し上手です。

私は 上手です。

校外学習のふりかえり



今日の班決めの自分のめあて

今日の班決めのふりかえり

友達とのかかわり